

令和4年度

苫小牧市特別職議員報酬等審議会会議録

日時：令和5年1月20日（金）午前11時00分

場所：苫小牧市役所9階第2委員会室

苫小牧市特別職議員報酬等審議会議事録

日時：令和5年1月20日（金）10：55～11：30

場所：苫小牧市役所9階第2委員会室

○開会

定刻より若干早いが出席予定者がそろったため開会する。厚生主幹が進行役となり、審議会委員7名のうち、1名が欠席することを報告した後、審議会次第のとおり進行する。

1 委嘱状交付

本審議会の委員を務めていた連合北海道苫小牧地区連合の山上前副事務局長の退任に伴い、工藤新副事務局長への委嘱状交付を行った。

2 市長挨拶

開会にあたり、岩倉市長から挨拶を行った。

3 委員・事務局紹介

新任委員、事務局から自己紹介を行った。

4 報告、意見交換

事務局から特別職議員報酬及び政務活動費について、報告を行った。

各委員からは、報告内容について概ね妥当であるとされた。

北條会長と事務局にて内容を整理し、市長へ意見書を提出することとした。

【主な発言等】

会長	<p>審議会次第に従い、審議を進める。</p> <p>特別職の報酬等の現状及び政務活動費の内容を事務局から説明をお願いする。</p>
事務局	<p>配布した資料に基づき、事務局から説明がなされた。</p>
会長	<p>ただいま事務局から説明があったが、質問・意見等があれば発言をお願いする。</p>
委員	<p>現状、人口に合わせた給料体系となっているので、適正額だと思う。</p>
委員	<p>苫小牧市は人口等急速に伸びていった街の1つであると理解している。</p> <p>急速に伸びていった街の運営に携わる市長及び役員は大変だったであろうことは想像に難くない。</p> <p>これらの労をねぎらいたい思いがある。</p>
委員	<p>昔の苫小牧は30万都市になることを念頭に置きながらまちづくりの計画を立てており、北海道の中で数少ない地方交付税交付金を受けない団体であったと理解している。</p> <p>現在はこの自治体も交付金を受けている状況のなかで、各都市の人口や職員数を勘案しながら特別職の報酬の状況見るとバランスとして大変丁度良い。</p> <p>また駅前の子々な構想が実際に動いていくと思うが、これまで積み上げてきた苫小牧の発展を維持できるよう政策を展開していただいたうえで、苫小牧のまちづくりを行っていただきたい。</p>
委員	<p>現状維持でよいと思う。</p>
委員	<p>各都市の人口と特別職の報酬の関係を考慮するのも大切であるが、市の収入つまり税収もやはり考慮すべきではないかと考える。</p> <p>そのことも考慮に入れば現状、非常に謙虚な数字となっているので現状の報酬額に賛成である。</p>

会長

人口の規模を勘案すると、相対的に報酬レベルはやや低くなっているところがある。昨年もプラス思考でという御意見もいただいております、多少そのようなことも考えてよい時期ではないか。

給与の減額が解消されて4年、さらには物価上昇や一般職の給与も増額傾向にあることから多少勘案してもよい時期にきているのではないか。

会長

それでは、全体としての意見は概ね妥当ということでまとめ、私と事務局で整理した上で、意見書を市長へ提出したいと思うが、いかがか。

委員

異議なし。

会長

以上をもって審議会を閉会する。

本日は貴重な御意見を頂戴し、また円滑な会議の進行に御理解・御協力を賜り、深く感謝する。大変お疲れ様でした。